

**「島根県立こころの医療センター」
建設に向けて考えてきたこと**



**島根県立こころの医療センター
病院長 竹下久由**

精神医療の特殊性

- ・精神医学は人間学の統合(↔科学的合理主義)
- ・疾病とその対応が社会や文化の影響を受ける
- ・様々な治療技法
- ・医療と司法、教育、行政など様々な分野との協働
- ・保健・医療・福祉の一体的運用
- ・チーム医療・連携医療が必須
- ・疾病・障害・元来の人格・薬物の副作用の混在
- ・自己決定の困難さ:パターンリズムの功罪
- ・医療従事者の不全感と燃え尽き

精神障害者の処遇の変遷

隔離・監禁

患者を犯罪者扱い

保護・収容

患者の人権を尊重

医療・保護

病気を治療の対象

保健・医療・福祉

障害のある人として

島根県立湖陵病院沿革(1)

- 昭和44年8月 診療開始(80床), 10月;200床
- 昭和45年5月 児童思春期病棟[32床] 診療開始
- 昭和46年4月 9床増床;209床
- 昭和48年4月 院内義務教育学級開設(湖陵町立小学校
分学級)
- 昭和49年4月 湖陵中学校分学級併設
- 昭和50年4月 老人病棟100床使用開始309床

島根県立湖陵病院沿革(2)

- 昭和51年6月 デイケアセンター使用開始(定員60名)
- 昭和56年3月 若松学園専用園舎竣工
- 平成 2年4月 若松学園が「湖陵町立小・中学校若松分校」に
- 平成 3年4月 リハビリテーション科開設
- 平成11年6月 応急入院指定病院指定
- 平成11年7月 精神科救急医療システム導入
- 平成12年4月 隠岐病院へ当院医師の派遣開始

島根県立湖陵病院沿革(3)

- 平成14年4月 児童・思春期精神科入院医療管理加算
- 平成14年4月 総合リハビリテーション事業開始
- 平成14年4月 精神科救急情報センター設置
- 平成16年4月 診療月報発行
- 平成16年7月 湖陵病院経営だより「アイリス」発行

島根県立湖陵病院沿革(4)

平成17年 3月 5-2病棟(51床)閉鎖(258床)

(若松病棟1、老人病棟1、成人開放病棟2、
成人閉鎖病棟2)

平成17年 7月 心神喪失者等医療観察法
指定通院医療機関指定

平成17年11月 急性期治療病棟入院料1算定(2-1病)

平成20年 2月 島根県立こころの医療センター新築移転

湖陵病院の位置づけ

1. 県における基幹的病院としての使命

- ・民間で担うことが困難な政策的医療
及び不採算医療の実施
- ・全県的な視点に立った広域的な取り組み

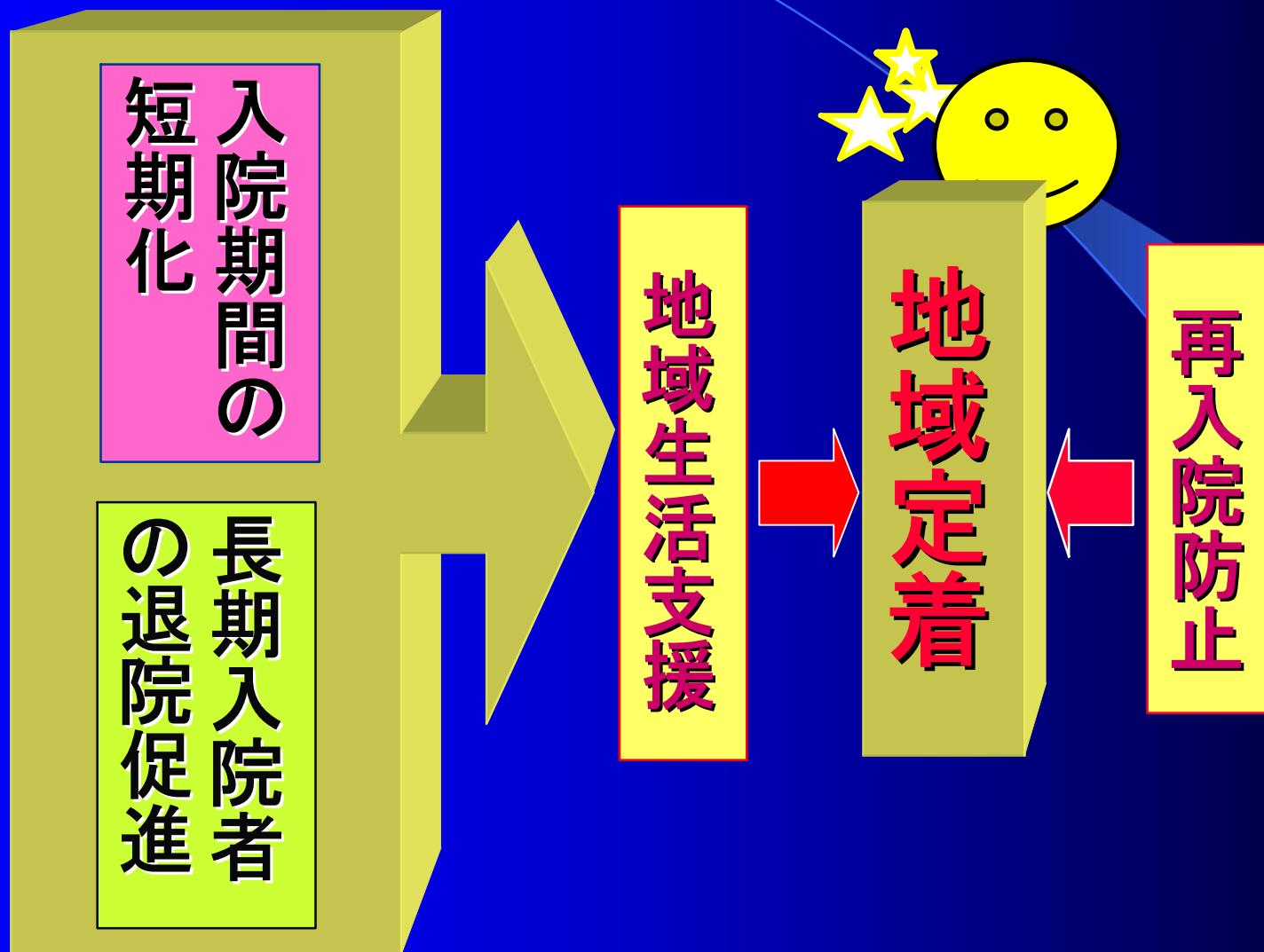
2. 県中央部の地域精神医療の拠点病院

- ・2次医療圏域ごとの精神科医療機関の配置
バランスを考慮した上での使命

新病院に向けての病院運営



湖陵病院が目指す支援体制



医療人としての姿勢

1. 患者中心の医療(人権尊重・安全・良質)

2. 知識・技術・人間愛・協調性

3. 誇りと責任と喜びの自覚

- 職能集団であるという自覚と誇り
- 相互の信頼感
- 各人の責任と権限の明確化と実践
- 情報の共有化と協働
- 自由な発言の保障と自浄作用
- 実績の正当な評価

リーダー私見

1. 二つのタイプのリーダー

1)タイプA(達成願望、競争心、活動的)

★強いリーダーシップ

2)執着性格(熱中性、徹底性、責任感旺盛)

メランコリー親和型(秩序愛、他人本位、良心的)

★協調的な組織運営

2. サブリーダーとのコンビネーションの重要性

3. 人は活かしながら育てる

＝道具として利用してはならない

組織の運営に必要なもの？

目的

組織としての
理念

中・長期目標

短期目標

手段

人
物
金

人(条件)

誇り、希望、喜び

情報

収集・整理・一元化・共有

アイデア

全員で考える(会議)

成果

実績
評価
発信

島根県立湖陵病の医療方針

1. 県立病院の役割を果たし、公正かつ普遍的な医療を提供
2. 医療水準の向上に努め、良質な医療を提供
3. 社会に開かれた医療を行い、信頼され安心して利用できる精神医療を提供

精神科医療における組織作り

人:

組織は人(精神科では特に大切)

組織作りは人作り

ハードの不備は人でカバー

ハード:

精神医療におけるハードは安全面の観点から
従来は閉鎖的で快適性が軽視されてきた

お釈迦様

- ・天上天下唯我独尊

- ・あれこれ卑下はするけれど、
やっぱり自分が一番

インド、コーサラの王様とお姫様の話

(相田みつを)

制御困難な感情

1. 不安⇔〔親和願望〕

生命の危機に直面した時に生じる感情

2. 怒り⇔〔達成願望〕

自己実現が阻まれたときに生じる感情

3. 両価的感情⇨葛藤

相反する感情が同時にあるいは交互に生じる

健康な心とは？

1. **愛情**: 母性、優しさ(親和願望)
他者との良好な関係をつくる
2. **自信**: 父性、強さ(達成願望)
自立・個別化し自己実現を享受
3. **知足**: 満足、感謝
自律する



如己堂

己の如く人を愛せよ

愛情と自信の調和

- ✧ 和して同ぜず
- ✧ 妥協なき寛容
- ✧ 人は強くなければ生きられない
 - しかし、優しくなければ生きていく価値がない
- ✧ 人格の成熟とは男性性と女性性の統合である

われただ たるをしる
吾唯知足



竜安寺茶室 蔵六庵の蹲 水戸光圀寄進

「足るを知るものは貧しきと言えどもすなわち富めり」



誇りと希望と喜び

孔子の人生訓

論語

吾れ十有五にして…

三十にして…

四十にして…

五十にして…

六十にして…

七十にして心の欲する所に従って矩を
踰えず。

正法眼蔵(道元)

〔心身脱落〕

仏道をならうといふは、自己をならふ也。

自己をならうといふは、自己をわするなり。

自己をわするるといふは、万法に証せらるるなり。

万法に証せらるるというふは自己の身心および他己の心身をして脱落せしむるなり

島根県立こころの医療センター新築・移転経過

- 平成 9年 8月 県立湖陵病院整備検討委員会設置
- 平成12年11月 湖陵病院整備計画(県立湖陵病院整検討会)
- 平成13年 5月 県精神保健福祉審議会・県立湖陵病院
整備検討小委員会設置
- 平成13年11月 県立湖陵病院整備検討小委員会検討報告
- 平成14年12月 県農業試験場桑園跡地へ新築移転方針決定
- 平成16年 3月 整備基本方針・基本計画・部門別運用計画策
定、PFI法に基づく実施方針の策定・公表
- 平成17年 2月 「島根県立こころの医療センター」事業者決定
- 平成17年 4月～18年 3月 基本・実施設計
- 平成18年 1月～19年10月 造成・建築工事
- 平成20年 2月 1日 引越し・新病院開院
- 平成20年2月～H35年2月(15年間)新病院維持管理・運営

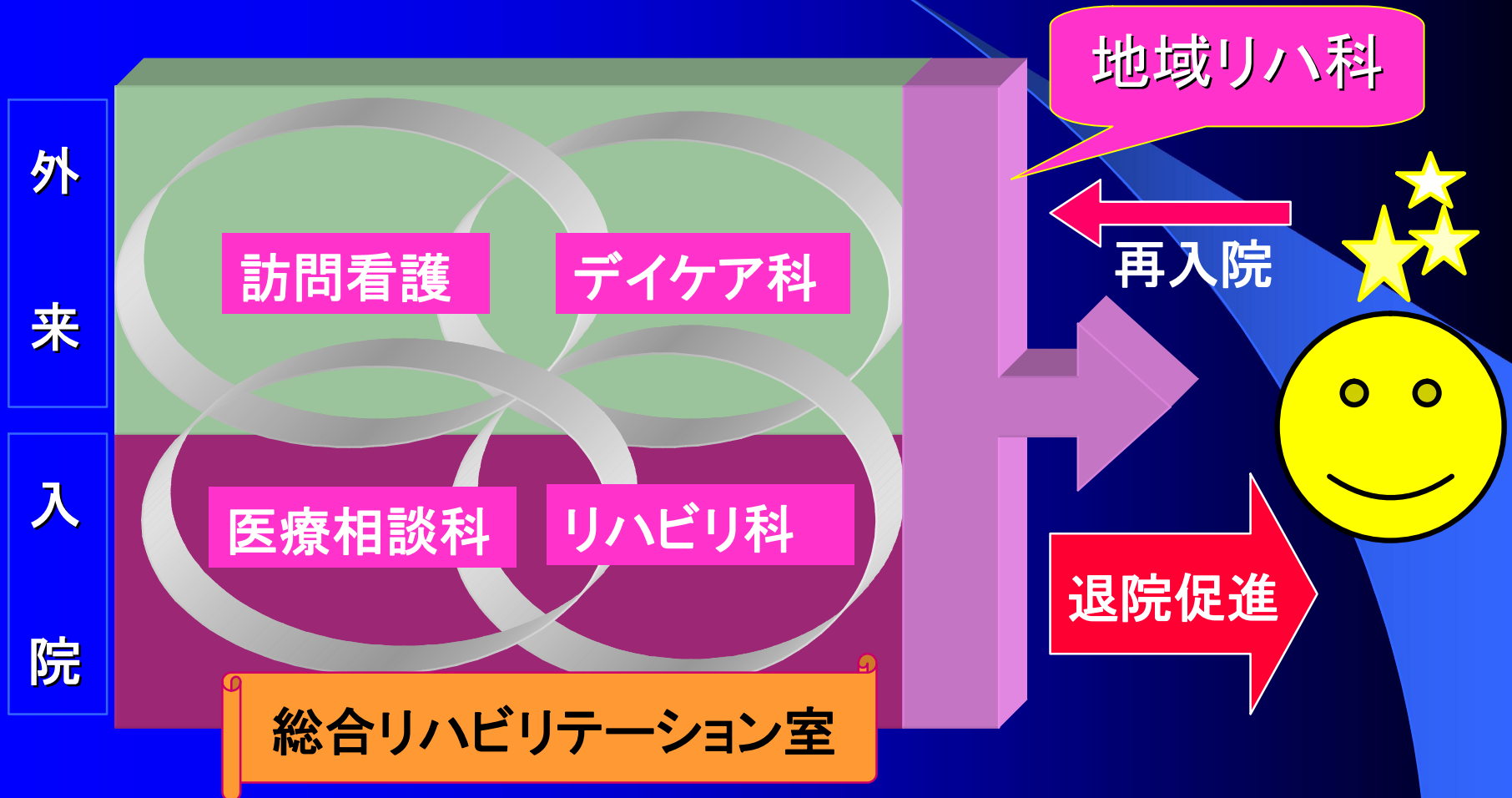
最近の活動(1)

1. チーム医療の実践

病院全体での取り組み(医療局・看護局・事務局の協働とセクショナリズムの排除)

- (1) 企画会議の設置
- (2) 各種委員会への事務局職員の参加
- (3) 総合リハビリテーション事業の推進
- (4) 新病院に向けての減床計画と遂行
- (5) クリニカルパスの導入
- (6) 新病院の検討

社会復帰促進と地域定住化対策



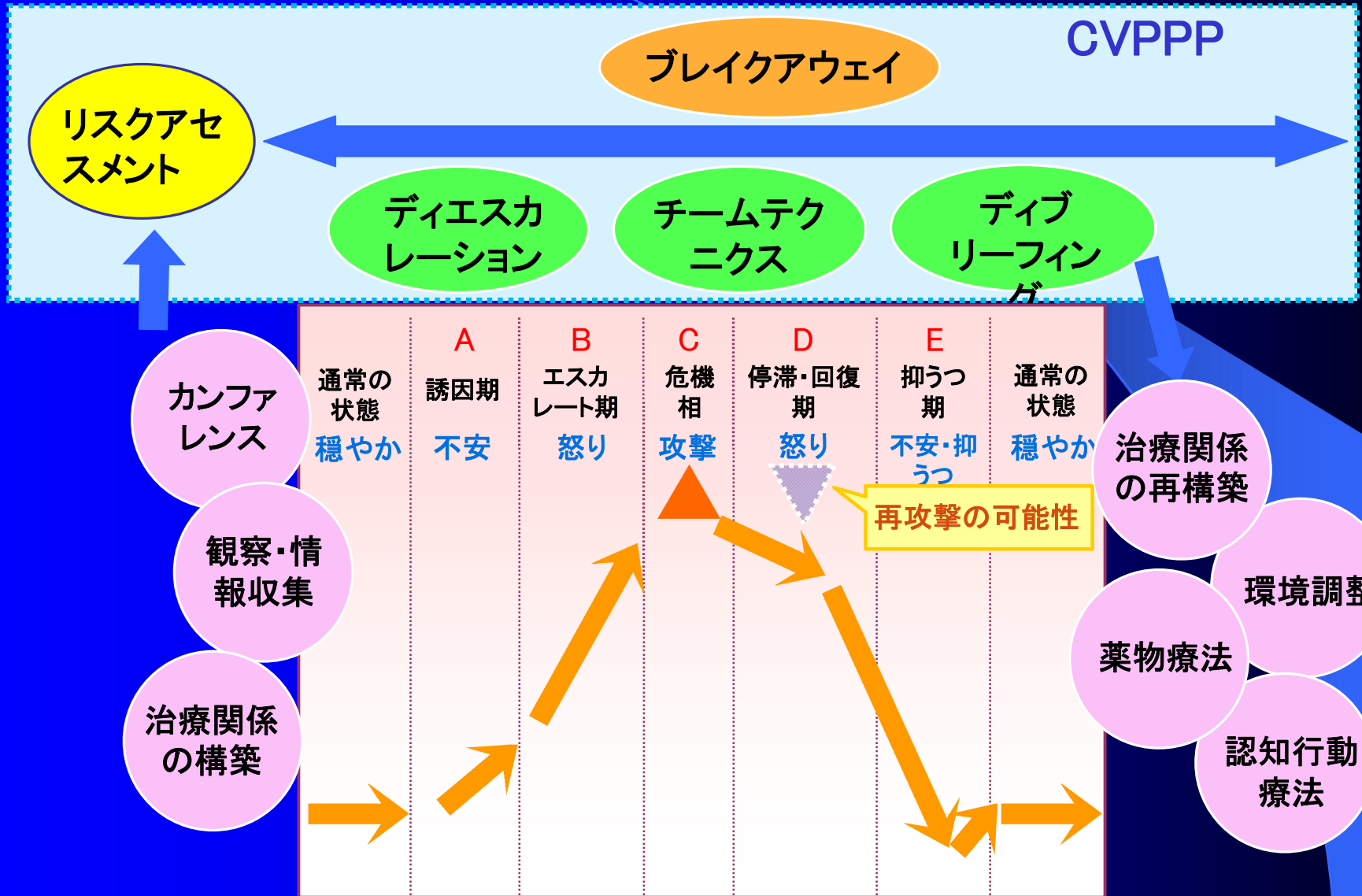
最近の活動(2)

2. 安全・安心の医療の提供

患者の人権と安全と同時に、職員の人権と安全を保証

- (1) 医療事故対策委員会の充実
- (2) 職員の被暴力・事故の報告
- (3) 包括的暴力防止プログラムの積極的導入と
県内精神科病院への普及

暴力のマネジメント



最近の活動(3)

3. 情報の整理と共有、発信

院内の実績を数値化、文書化し情報の共有と発信を行う

(1) 部署別月報

(2) 診療月報: 各部署に配布

(3) 湖陵病院経営便り「アイリス」: 全職員に配布

(4) 病院の概要→島根県立湖陵病院年報

最近の活動(4)

4. 院内・院外研修の充実

看護局中心

5. 病棟の機能分化と病床の有効利用

(1) 2-1病棟での急性期治療病棟入院料の算定

(2) 病床利用状況の一元管理と共有

6. 経営意識の高揚

(1) 湖陵病院アクションプランの策定

(2) 経営改善委員会

(3) 看護局でのSST(社会生活技能訓練)の取組

最近の活動(5)

7. 隠岐圏域への精神科医の派遣

平成12年4月から現在まで、指定医1名を中心に、最近は2名の医師を派遣してきた。
一人が1～2年。

島根県立こころの医療センター



ニリンソウ

良い病院づくりとは？

☆患者さんが安心して良質の医療を享受できる場所

- ・ハードとソフトの調和
- ・ハード：安全性と快適性
- ・ソフト(人)：知識、技術、心

総合テーマ：緑の丘のコミュニティ・ホスピタル —緑・風・光と交流—

緑豊かな自然環境に囲まれた中、病室から社会へと段階的なコミュニティを構成し、患者さん自身の自己回復力を高め、早期退院・地域生活への定着をめざす

- ☆ノーマライゼーションの実現に向け、将来を見すえたハード・ソフトづくり
- ☆地域に調和し、地域と協働しながらの施設づくり
- ☆精神医療に対する正しい理解を深め、いつでも誰でも気軽に受診できる開かれた施設

島根県立こころの医療センター 医療方針

私たちは

地域に開かれた 緑薫る癒しの丘で
集う人々の 誇りと希望と喜びを大切にし
一人ひとりの こころに寄り添う医療を提供します

島根県立こころの医療センターの役割

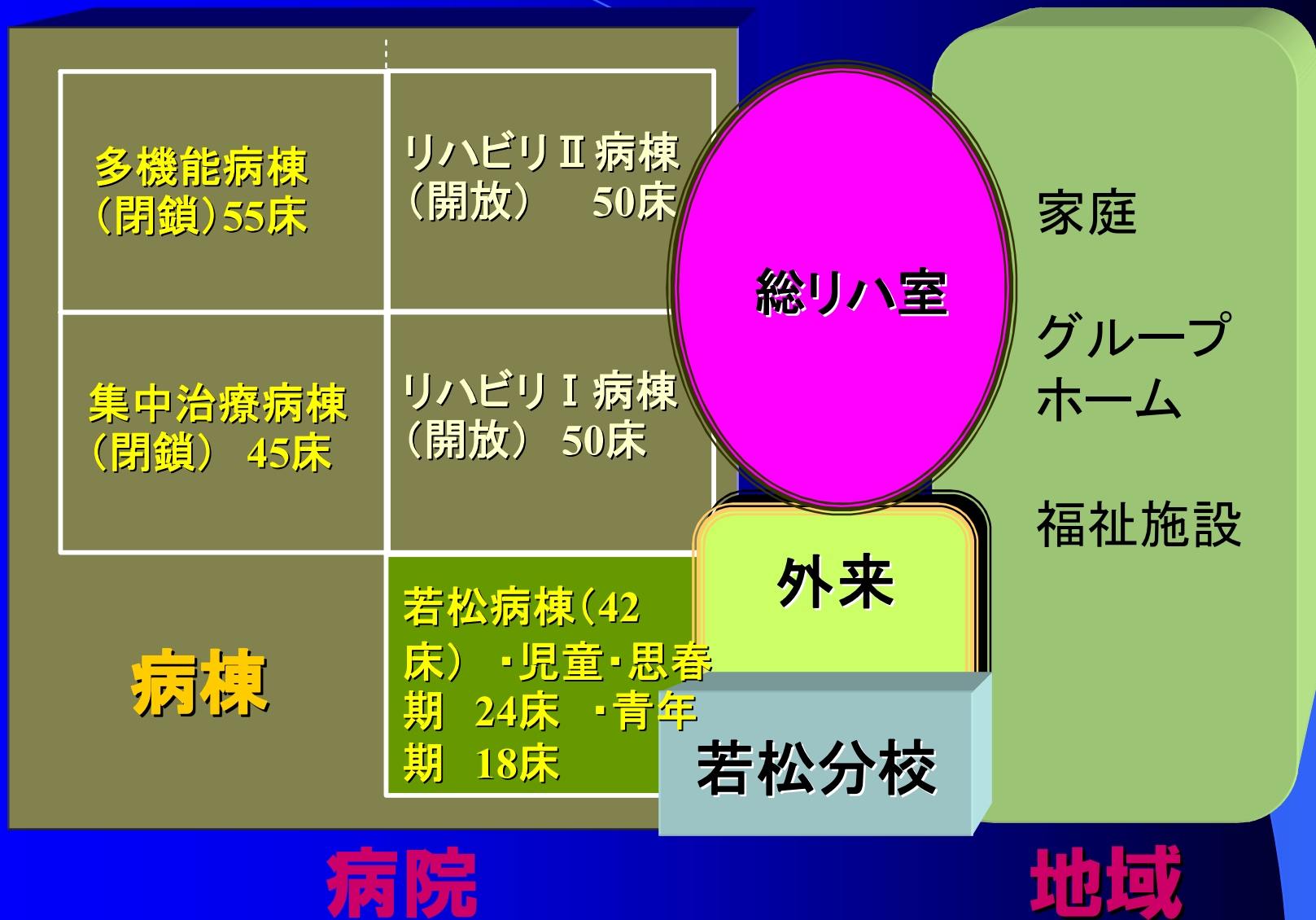
1) 基本的な方向

- ① 全県下の精神医療センター
- ② 短期集中的治療の実施
- ③ 専門的医療の充実
- ④ 精神科救急医療の基幹的病院
- ⑤ 新たな医療需要への対応
- ⑥ 外来機能の充実
- ⑦ 社会復帰や地域生活の支援
- ⑧ 医療従事者の研修、教育機能

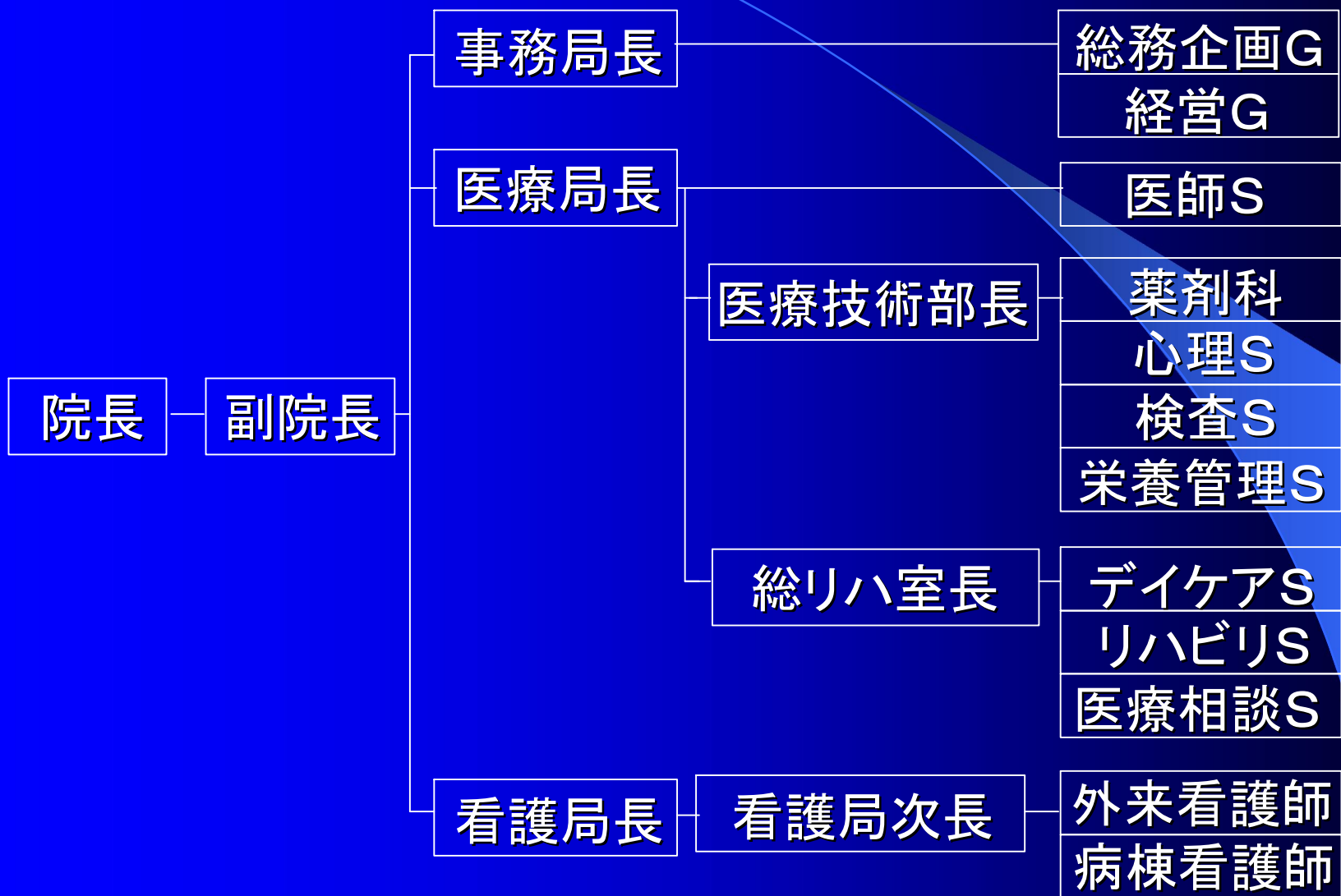
新病院の概要

- 名称：島根県立こころの医療センター
- 整備場所：出雲市下古志町・敷地面積：約4,2万㎡
- 規模：242床
- 本体工事着工：平成18年4月1日
- 竣工：平成19年10月末
- 開院時期：平成20年2月1日
- 構成：病院本体と若松分校
- 電子カルテシステム(IIMS)の導入
- 病棟の機能分化と個室化（個室率44%）

新病院全体構想



島根県こころの医療センター組織図













受付
Reception
1

受付
Reception
2

会計
Cashier

総合受付
General Reception

医療相談
Medical
Consultation

医療相談
Medical
Consultation

お薬渡し口
Prescription Counter



総合リハビリテーション受付

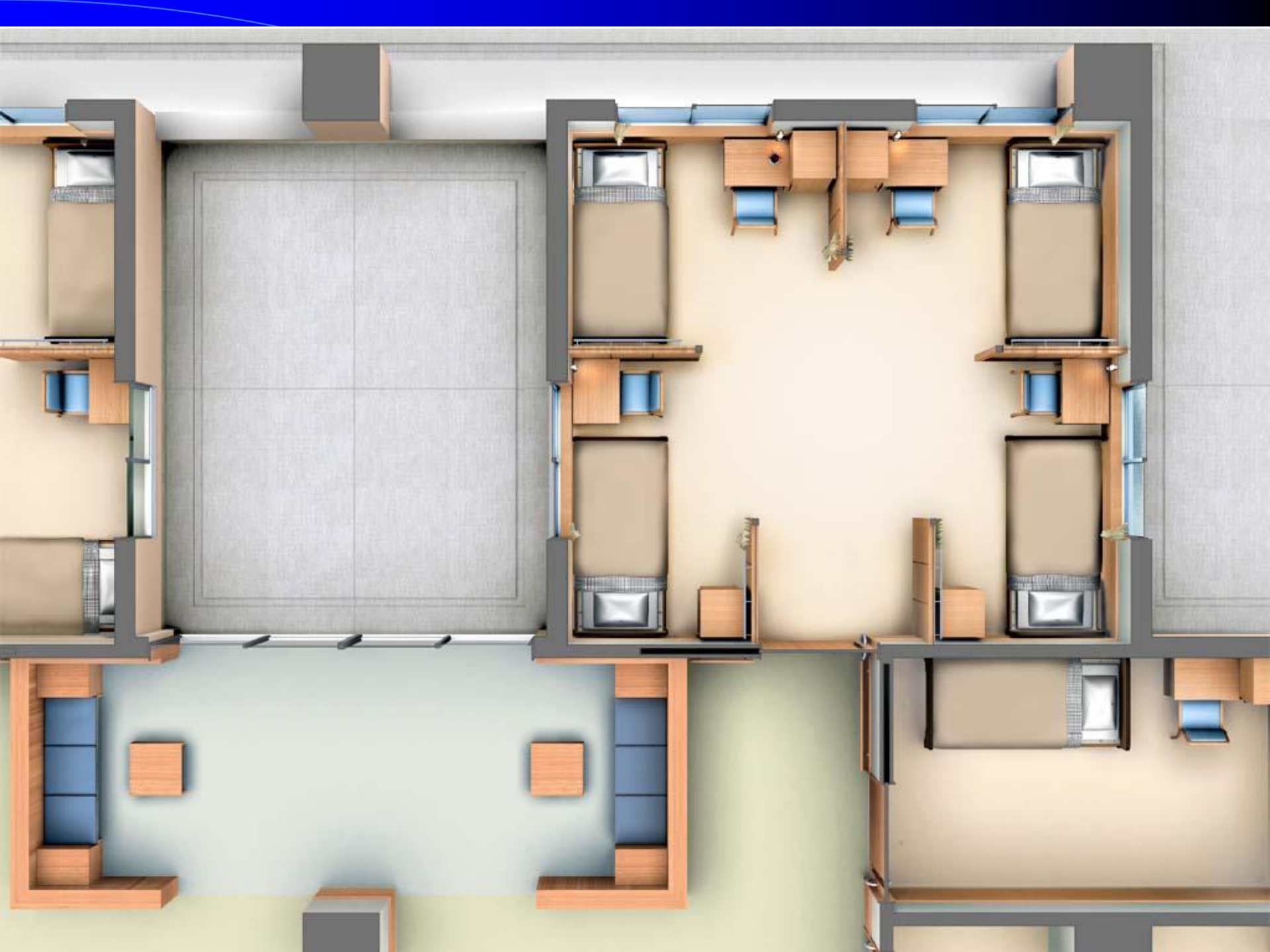
静養室

静養室1

静養室2

























ご清聴ありがとうございました

ニリンソウ